

令和 7 年度第 2 回安城市総合計画審議会 議事（要旨）

日 時	令和 7 年 1 1 月 1 8 日（火） 午前 1 0 時～ 1 1 時 3 0 分	
場 所	安城市役所 本庁舎 3 階 第 1 0 会議室	
出席者	委 員	渥美純一委員、浦田真由委員、太田良子委員、神谷健二委員、 小山敦委員、酒井麻利子委員、鈴木健司委員、都築豊彦委員、 寺田覚委員、戸田こず恵委員、戸田玲佳委員、新沼英明委員、 野上三香子委員、久恒美香委員、細井格博委員、本山美紀委員
	事務局	市長、副市長、教育長、企画部長、行革・政策監、 関係部次長、企画政策課長、企画政策課長補佐、企画政策課 職員
次 第	1 市民憲章唱和 2 辞令交付 3 市長あいさつ 4 会長・副会長の選出 5 会長あいさつ 6 議題 （1）第 9 次安城市総合計画実施計画（令和 8～1 0 年度）（案）につ いて 7 その他	

1 市民憲章の唱和

2 辞令交付

【代表受領：浦田真由委員】

3 市長あいさつ

皆さま、こんにちは。本日は、ご多用の中、令和 7 年度第 2 回安城市総合計画審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、このたび委員をお引き受けいただきましたことに、改めて厚く御礼申し上げます。皆様には、2 年間にわたり、本市の自治体経営の最上位計画である「総合計画」に関する事項についてご審議をお願いすることになります。それぞれのお立場やご専門の視点からご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、本日の審議会では、令和 8 年度から 1 0 年度までの 3 か年を対象とする「実施計画」についてご審議いただきます。実施計画とは、総合計画に掲げる目指す都市像「ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城」の実現に向けて、今後 3 年間で取り組む具体的な事業を定めるものです。

今回の実施計画期間においては、市内で様々な動きが出てまいります。来年度はアジア競技大会が開催され、本市に多くの人を訪れるほか、令和10年度にはアリーナが開業します。また、10周年を迎えるアンフォーレや30周年となるデンパークの再整備事業、多文化共生拠点施設の整備を行うほか、南明治第三地区や三河安城駅南地区における土地地区画整理事業が進んでいくなど、これまでの取り組みが目に見える形で現れてくることとなります。

まだまだ成長していく安城の姿を皆さんにお示しし、総合計画の後半に向けて勢いを付けていくために、非常に重要な期間となってまいります。

本日お示しします実施計画案に示された取組みを着実に進めていくことが、本市のさらなる発展につながるものと考えています。委員の皆様におかれましては、様々なご見識からご意見を賜りますようお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 4 会長・副会長の選出

(事務局説明)

##### 【久恒美香委員】

町内会長連絡協議会の会長をされております寺田覚委員を推薦いたします。

寺田委員は、現在、町内会長連絡協議会の会長として、また町内会長として、安城市の市民の生活に、幅広い知識と経験をお持ちでございますので、適任であると思います。

##### 【異議なしの意見あり】

##### 【寺田覚会長】

副会長には太田委員を指名します。よろしくお願いいたします。

#### 5 会長あいさつ

先ほどご推薦いただきました町内会長連絡協議会会長の寺田でございます。よろしくお願いいたします。私は、古井新町町内会で5年間、会長を務めております。また、安城保護区の保護司を5年やっております。それ以外に、「安城市を音楽があふれる街に」という思いを掲げながら、安城市交響楽団とか「Anjo音楽のある1日」、「子ども音楽フェスタ」を立ち上げて様々な文化活動も行っております。

いろんな審議会にも属しており、安城市を楽しいまちにしたいといろいろ考えております。今日は、安城市総合計画審議会の会長として、皆様のいろんなご意見を聞きながら、議事を取りまとめしていきたいと思っております。

ぜひ活発なご意見をいただきますようお願いいたします。

## 6 議題

### 【司会】

それではこれより議事に入ります。ここからは寺田会長に議事の取り回しをお願いいたします。

### 【寺田覚会長】

円滑な議事運営にご協力をお願いします。

## 議題（１）第９次安城市総合計画実施計画（令和８～１０年度）（案）について

### 【寺田覚会長】

議題（１）第９次安城市総合計画実施計画（令和８～１０年度）（案）について、事務局より説明をお願いします。

（事務局説明）

### 【寺田覚会長】

ありがとうございました。

ただいま事務局より議題第９次安城市総合計画実施計画（令和８～１０年度）（案）について説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

### 【渥美純一委員】

学校給食費無償化事業につきまして、年９億円ぐらいの金額が掲載されています。子どもの食に関連して、実施計画に掲載のある事業ではありませんが、子ども食堂について質問します。私どもも若干関わっている子ども食堂が市内に何箇所かあり、市として子ども食堂とどの様にかかわっていくお考えか、今後、物価高などいろんな状況で、子どもの食事が十分に取れないようなケースが想定されると思いますが、市としての関わりをお聞かせいただきたいと思います

### 【こども健康部長】

市としましては、市内８箇所ある子ども食堂との情報の共有化や県事業で行う設立運営に関する補助についての紹介、市のボランティア活動に関する補助金の紹介などでの情報共有を図っております。

また、子ども食堂に支援したいというお話があった場合、子ども食堂に繋げる役割も担っておりますので、定期的に顔を合わせたりして、子ども食堂の方とは連絡を密にしている状況でございます。

【久恒美香委員】

障害者・障害児相談支援事業所運営補助事業ですが、現在、安城市ではこのような相談支援事業をしている事業所はいくつぐらいあると把握されていますか。また、事業所の場所は安城市に広く分布している状況でしょうか。

【福祉部長】

今市内には事業所が11箇所ございます。場所については、地域の偏りがあります。

【野上美香子委員】

あんしんふれあい収集事業につきまして、今年度から地域限定で実証事業を開始とありますが、この地域はどこか、また、実証事業とはどのような内容なのか教えていただきたいです。

【環境部長】

今年度からの実証事業でございますが、クリーンセンター周辺の南部地区にある6つの町内を対象として実証実験を進めています。

しかし、このエリアでは共助が働いており、ごみ収集の支援を地域でやられている状況がありますので、今池町にて、戸建て以外にも集合住宅で実証をやってまいります。収集するごみは、粗大ごみを除いて、燃えるごみ、燃えないごみなどを分別していただいて、週1回収集させていただいております。

【戸田こず恵委員】

新規事業のアーバンスポーツ施設整備事業について、令和8年からとなっておりますが、年度別事業内容が全く何も書かれていません。今の段階では何も決まっていないということでしょうか。

【生涯学習部長】

今回の実施計画では、施設整備の趣旨が採択されている状況です。アーバンスポーツにつきましては、東京オリンピックを契機に、スケートボードや、BMX、3x3バスケットボールなどに注目が集まっていることから、競技者の方や、関係者の方の意見をお聴きし、どのような施設を整備するか、検討を行う予定です。

【細井格博委員】

予算についてお伺いしたいことがあります。財政計画の中の歳出について、投資的経費が令和8年度は126億円計上されております。この投資的経費とは主にこういったものに

投資される費用の事でしょうか。

【企画政策課長】

投資的経費につきましては、ハード整備全般でございます。例えば廃棄物処理施設整備事業などの事業が該当します。

【細井格博委員】

安城市の人口が、2020年をピークに減少に転じています。歳入の市税のところで令和8年度で全体の約50%が計上されていますが、人口が減っていく中でこの歳入を継続して計上していけるのか、お考えをお聞かせください。

【企画政策課長】

人口につきましては現在減少が続いております。そういったこともありまして「子どもを核としたまちづくり」の方針のもと、各種事業を進めているところです。歳入、市税につきましては、本計画期間におきましては、生産年齢人口に変化がない見込みであり、加えまして、賃金の上昇もございますので市税につきましては増加傾向にあると考えております。

【細井格博委員】

今後、もし可能であれば、投資的経費のところで、経営の観点から申し上げさせていただくと、リターンを得られるような投資的事業をどんどんしていった方がいいのかなと一つ意見としてさせていただければと思います。

【企画政策課長】

ありがとうございます。現在、区画整理事業等を進めておりまして、そこで定住人口を確保し、市税収入、自主財源の確保に努めてまいります。

【新沼英明委員】

子育て支援少子化対策についてお伺いしたいと思います。まず全国的な人口の減少、出生数の低下が大きく報道されておりまして、今年度は1月から6月の間で出生数32万人となり、通年に換算すると64万人ですので、去年を下回るのではないかと報道もなされています。

現在、安城市の出生数については、当初計画通りの出生数であるのか、あるいは計画を下回っているのかについてお聞きしたいと思います。

【企画政策課長】

本市の人口動態におきましては、自然減・社会減の状態であり、出生数につきましても、

計画を下回っております。

【新沼英明委員】

まちづくりを検討する上で、人口の推移は非常に関心の高いところかと思います。このような状況の中で、どの市町村も子育てに資源の集中投下していかなければ、なかなか人口が増加に転じない、あるいは出生数の増加に転じない厳しい状況になっているものと思われます。そこでやはり子育ての中でその中核となるのは保育園かと思われます。

その保育園の最も中心的な役割を担う保育士の確保につきまして、何か保育士を確保するための施策を講じているのか、あるいは今後の見通しについてどのようにお考えなのかお聞かせいただければと思います。

【こども健康部長】

保育士の確保につきまして正規職員と会計年度任用職員がございますが、計画的に採用が進んでいるところでございます。

保育士確保の取り組みとしては、民間保育園と一緒に保育士の募集フェアをやるなど様々な工夫をしながら、保育士確保に努めているところでございます。

【新沼英明委員】

愛知県の保育士の有効求人倍率は2倍を超えているのではないかと思う状況で大変厳しい状況の中、安城市では保育士の確保に成功していることは本当に素晴らしいことだと思っております。

ぜひ今後も保育士の待遇改善に向けた取り組みをしていただければと思います。

もう一点、三つの無償化事業につきまして先ほどもご質問出ておりましたが、学校給食費無償化事業につきましてですが、やはり無償化は非常に大事なことでありますけれども、その無償化プラス質の担保も大事だろうと思います。

食物アレルギーを理由にした欠食については、給食費相当額を支給しているとのことでしたが、やはり将来的に、食物アレルギーを持ったお子さんにも、その食物アレルギーの状況に応じた給食が提供できるのが理想かと思います。今後そのようなことに対する見通しについて最後にお聞かせいただければと思います。

【教育部長】

学校給食における食物アレルギー対応につきましては、小中学校では、乳製品について対応しております。

保育園につきましては、整備が整っておりませんので、対応できておりません。

【久恒美香委員】

歳入のところで一つ伺います。ふるさと納税で安城市に収められるべき税収が外にでているイメージがありますが、ふるさと納税の商品の開発などをされていると思います。そういったことを教えていただけますか。

【企画政策課長】

ふるさと納税の返礼品の拡充については積極的に進めています。例えば青年会議所や農協と連携した事業者の紹介や、勉強会を開催するなど、魅力ある返礼品の拡充に努めています。

【久恒美香委員】

今、安城市ではどれぐらいの品目があるか教えていただけますか。

【企画政策課長】

返礼品の数で言いますと、300強の数となっています。

【小山敦委員】

財政計画のうち、基金と市債の推移についてお聞きします。市債や基金については、使途に制限があつてなかなか他の用途に使うことが難しいと理解はしております。基金残高が市債残高を上回っているうちは良いのですが、令和10年度には市債残高が基金残高を上回る計画になっています。

市債と基金の両方を活用して事業実施していくのは、基金が減っているため限界に近付いている状況の中で、他にこの状況を解消する方法はないのか、お尋ねしたいと思います。

【企画政策課長】

基金残高を維持していくことが望ましいと考えておりますが、大規模事業が続く中で不足財源を基金により賄う計画としており、今計画の3ヶ年では合計155億円ほど基金が減る見込みとなっています。そのうち財政調整基金については、3ヶ年で70億円ほどの取り崩しを行い、残高は13億円まで減少する見込みになっています。

しかしながら、実施計画では、通常、決算後に発生する決算剰余金を想定していません。実際には各年度の決算剰余金の状況を踏まえまして、基金の取り崩しをやめたり、あるいは積み立てをしたりしております。従いまして、実際には今計画でお示ししました基金残高のとおり推移しない可能性もあります。

委員が言われるとおり厳しい財政状況が見込まれますが、未来への投資としてやるべきことはやっていくとして、今回の計画を作成しております。

【寺田覚会長】

ありがとうございました。

皆さんから様々なご意見も出てまいりましたので、事務局にはこの意見については検討いただきたいと思いますが、ただ今の議題（１）については、本審議会として了承としてよろしいですか。

（異議なしの声あり）

ありがとうございます。ご異議も無いようですので、この内容で了承とさせていただきます。以上で議題（１）「第９次安城市総合計画 実施計画（案）について」、を終わります。

以上で本日の議題はすべて終了いたしました。それでは、学識経験者の委員から全体を通した講評をいただきたいと思います。

【浦田真由委員】

実施計画書を拝見して、安城市の多様な事業があることが分かりました。ぜひ、その魅力や特徴を市民や市外の方知ってもらうことも大事だと感じています。

生成ＡＩが出てきたことで情報発信が重要となる時代が来ています。これまではＧｏｏｇｌｅなどで検索が必要でしたが、今ではＡＩが自動的に見つけてくる時代になると言われており、正しい情報を発信しておく、ＡＩがそれを見つけて、回答を出すときに、それを読み上げるような形になってきています。これまで以上にいろいろな事業の紹介であるとか、魅力発信をやっていただくとよいと感じております。

また、ＡＩをうまく活用すると、今度は市民の声もこれまで以上に集めやすくなる可能性も考えられますので、そういったところも踏まえてこれから情報発信と収集を進められると良いかと思います。

それともう一点、デジタル人材育成推進事業について、高校生を対象にイベント的なことを開かれているとのことですが、私が高山市で行っている取り組みとしては、高校の授業と連携した取り組みを行っております。高校の授業では探究学習という地域課題を調べたりできるような枠組みが出てきていることから、高校の授業にと地域課題を上手に結びつけて進めていかれると、単発のイベントだけではなく継続して高校生にまちのことを考えてもらうとか、デジタルを使ってその課題解決をするようなところに進めていけるのではと感じておりますので、今後ご参考にしていただけたらと思います。

【鈴木健司委員】

先ほど、委員からご質問がありました市債残高と投資的経費のところでございます。基金の残高を見ますと、結構積み上がってきており、市債残高が代わりに減ってきたのは裏を返せば、投資をしていなかったということです。



地方財政法では市債は投資的経費にしか使えないので、やっこの投資的経費に使うときが来たとご判断をされたのかなと思います。その意味では、私は非常に肯定的なとらえ方をしていますが、問題は投資をした後の使い方です。

例えば、アンフォーレが10周年を迎えてリニューアルしますとありましたが、事業が本当に市民の満足度を上げていくのかとか、便益を上げていくのか、そういう利活用のところを十分に検討していただければと考えております。

#### 【新沼英明委員】

私の方から子育て支援・福祉について、いくつかコメントをさせていただきたいと思います。

投資的経費は、まさに子育て支援には非常に重要な意味を持つだろうと思っております。子どもたちが将来の納税者であることを考えますと、あらゆる政策に繋がってくると思います。

子育て三つの無償化事業として、学校給食費それから保育料、そして医療費の問題が今回挙げられておりますけれども、まさに子どもたちの生活に直結する経費の計上であると考えております。

一方で先ほども少し述べましたが、少子化の進行は我々の予想をはるかに超える勢いで、ものすごいスピードで進んでいることもやはり危機感を持つ必要があるかと思っております。ですので、子どもたちに対する政策は、もしかしたら他の事業に先んじて、スピード感を持ってプライオリティを上げる必要があるのではないかという感覚も受けております。例えば小学校屋内運動場空調設備の設置事業に関して言うと、11校が令和8年に設計、令和9年工事と、そして10校が令和9年に設計で令和10年に工事となりますので、この先2年間、屋内運動場にエアコン設備がない状況が続くことも予想されます。ですので、子どもたちが学び、健全に育ち、そしてこの安城市に定着しなければ、投資をしたリターンはないわけですので、そういった面から、まちづくりを今後進めていただければと思います。

#### 【寺田覚会長】

以上で本日の議事は終了いたしましたので、事務局にお返しいたします。

## 7 その他

#### 【司会】

皆様ありがとうございました。次回開催予定についてご連絡をいたします。

次回は令和8年6月頃に開催する予定です。時期が近づきましたら改めてお知らせいたします。以上をもちまして、令和7年度第2回安城市総合計画審議会を終了いたします。ありがとうございました。